



## 投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

春よ来い！

撮影者 岡田清孝さん 撮影日 平成26年2月  
撮影場所 所 円一町一丁目



火渡り神事

撮影者 岡田敏行さん 撮影日 平成26年1月  
撮影場所 所 金剛寺(田野浦町)



雪帽子

撮影者 深町博さん 撮影日 平成26年2月  
撮影場所 所 久井の岩海(久井町吉田)



入江風景

撮影者 阿部公志さん 撮影日 平成26年1月  
撮影場所 所 古浜一丁目



### 投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 4日(火)(必着)  
応募資格 市内に在住か通勤・通学の学生  
募集枚数 1人1枚  
選考 秘書広報課で選考  
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。  
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。  
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 [hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp](mailto:hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp))へ



▲ブッポウソウのパネル展示は利用者の関心を呼んでいます(久井文化センター)

岡田清孝さんは20年前、久井の野鳥に魅了され、観察と写真撮影を始めました。きっかけは勤務先の学校で見たシジュウカラでした。夫婦が協力して子育てする姿。天敵を警戒しながら餌を取り、必死に子孫を残そうとしていた。力強く生きることの尊さを感じた。そのときの感動をこう振り返ります。

### 心を打った力強く生きる姿

種々の撮影を終えたとき、節目に観察を重ねる中で新しい鳥との出会いもありました。昨夏には絶滅危惧種のブッポウソウを発見し、ひな鳥が巣立つまでの撮影に成功。「長年の夢が叶った」と目を輝かせます。その貴重な姿は久井文化センターでパネル展示されています。

理科教師だった経験を生かし、地元の小中学校で野鳥や地質をテーマにした特別授業で教壇に立つこともあります。昨年からは自然保護活動を行うく環境会議に参加し、野鳥のパネルレットの制作にも取り組んでいます。

「たくさんの野鳥が住む豊かな自然を守るため、これからは何ができるかを考えたい」と岡田さん。いつまでも久井の空に野鳥が舞い続けることを願っています。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



久井町で野鳥を研究する 岡田清孝さん